

平成21年3月期 第2四半期決算短信

平成20年10月31日

上場取引所 東

上場会社名 電気化学工業株式会社
 コード番号 4061 URL <http://www.denka.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) IR・広報室長
 四半期報告書提出予定日 平成20年11月14日

(氏名) 川端 世輝
 (氏名) 大町 徹夫
 配当支払開始予定日

TEL 03-5290-5511

平成20年11月28日

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第2四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第2四半期	194,811	—	10,948	—	8,760	—	5,100	—
20年3月期第2四半期	176,180	9.4	15,565	16.7	13,954	17.1	7,714	7.8

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第2四半期	10.12	—
20年3月期第2四半期	15.71	—

(注) 第1四半期連結会計期間より「四半期財務諸表に関する会計基準」等に基づき財務情報を作成しているため、当第2四半期連結累計期間の対前年同四半期増減率は記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
21年3月期第2四半期	409,120	40.3	167,570	40.3	—	—	326.75	
20年3月期	375,364	41.6	161,870	41.6	—	—	317.91	

(参考) 自己資本 21年3月期第2四半期 164,691百万円 20年3月期 156,022百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00
21年3月期	—	5.00	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	5.00	10.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	389,000	6.9	25,000	△16.4	21,000	△15.7	11,000	65.2	21.82

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

連結業績予想については、平成20年7月31日に公表いたしました業績予想から売上高のみを修正し、営業利益、経常利益及び当期純利益は修正しておりません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 有

新規 1社(社名 菱三商事(株)) 除外 2社(社名(有)糸魚川タクシー、日動産業(株))

(注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 有

(注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第2四半期 505,818,645株 20年3月期 492,384,440株
 ② 期末自己株式数 21年3月期第2四半期 1,794,091株 20年3月期 1,615,562株
 ③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第2四半期 504,113,818株 20年3月期第2四半期 490,890,859株

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(1) 平成20年7月31日に公表いたしました業績予想は、本資料において修正しております。

(2) 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、4ページ【定性的情報・財務諸表】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

(3) 当連結会計年度より、「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(参考) 個別業績予想

平成21年3月期の個別業績予想 (自 平成20年4月1日 至 平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	263,000	△1.4	22,000	△14.0	20,000	△12.3	12,000	81.7	23	80

(注) 個別業績予想数値の当四半期会計期間における修正の有無 : 有

個別業績予想については、平成20年7月31日に公表いたしました業績予想から売上高のみを修正し、営業利益、経常利益及び当期純利益は修正していません。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間のわが国経済は、原油をはじめとする資源価格の高騰やサブプライムローン問題に端を発した米国経済の減速に伴って民間設備投資や個人消費が弱含みとなり、景気の減速感が一層強まりました。

このような状況のもと、当社グループは業容の拡大と収益の確保に努めました結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は194,811百万円（前年同期比10.6%増）となりました。原料価格高騰の影響を製品価格の是正で吸収すべく努力いたしましたが、一部の川下製品やスチレン系樹脂の海外市場で価格転嫁が遅れたこと等により、営業利益は10,948百万円（前年同期比29.7%減）となりました。また、持分法適用会社の収支悪化に伴い投資損失を計上したこと等もあり、経常利益は8,760百万円（前年同期比37.2%減）、四半期純利益は5,100百万円（前年同期比33.9%減）となりました。

有機系素材事業では、スチレンモノマーが隔年実施の定期修繕を行ったことに伴い生産数量が減少したことに加え、原料価格の高騰とアジア市況の軟化により採算が悪化したことからスチレン系樹脂全般の輸出販売を縮小いたしました。AS・ABS樹脂等は国内販売価格の値上げを打ち出しましたが、原料値上げ分を完全に転嫁するには至りませんでした。ポパールは輸出の販売数量が伸びるとともに国内外で販売価格の是正が進み増収となりました。クロロプレンゴムの輸出は自動車関連用途や接着剤用途を中心に販売数量を伸ばし増収となりました。

無機系素材事業では、肥料は輸入競合品の流入減少と新肥料年度からの値上げを見込んだ駆け込み需要もあり販売数量が増加し大幅な増収となりました。鉄鋼用材料である窒化けい素鉄“ファイアレン”等の耐火物は順調に販売数量を伸ばすとともに販売価格の是正により増収となりました。セメントは製品価格の値上げに努めましたが、官民ともに需要は冷え込んでおり販売数量は減少しました。特殊混和材も大口工事の減少等により販売数量が減少し減収となりました。

電子材料事業では、電子部材の電子回路基板は、産業機器や電鉄向けを中心に販売数量が増加しました。電子部品、半導体の搬送資材である“デンカサーモシートEC・クリアレンシートC”等が輸出を中心に販売数量を伸ばし増収となりました。また、光学レンズ向けなどに紫外線硬化型接着剤“ハードロックOP/UV”が順調に販売数量を伸ばしました。デナールシラン株式会社のモノシラン・ガスは順調に販売数量を伸ばし増収となりました。

機能・加工製品事業では、産業資材は合繊かつら用原糸“トヨカロン”が北米やアフリカ諸国向けの輸出を中心に販売数量を伸ばし増収となりました。また、耐候性フッ素系アロイフィルム“DXフィルム”も販売数量を伸ばし増収となりました。食品包材用シートは販売数量を伸ばすとともに製品価格の値上げに努めましたが、子会社デンカポリマー株式会社の加工品は価格転嫁が遅れており厳しい状況でした。医薬におきましては、関節機能改善剤（高分子ヒアルロン酸製剤）は順調に販売数量を伸ばし増収となりました。また子会社のデンカ生研株式会社は、国内での化学発光検査試薬の販売数量の増加やインフルエンザワクチンや関連試薬の前倒し出荷等により増収となりました。

その他の事業では、第1四半期連結会計期間より菱三商事株式会社を連結子会社化したこととともない商社部門の売上高が増加しました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(資産、負債及び純資産の状況)

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ337億56百万円増加して4,091億20百万円となりました。原材料価格の高騰によるたな卸資産の増加や菱三商事株式会社を連結子会社化したことによる売上債権等の増加により流動資産は前連結会計年度末比209億64百万円増加の1,552億48百万円となりました。固定資産は、積極的な設備投資を行ったことに加え、デンカ生研株式会社の完全子会社化に伴いのれんを計上したため前連結会計年度末比127億92百万円増加の2,538億72百万円となりました。

負債は、菱三商事株式会社を連結子会社化したこと等により、前連結会計年度末に比べ280億56百万円増加して2,415億49百万円となりました。

少数株主持分を含めた純資産は、株式交換によりデンカ生研株式会社を完全子会社化したこと等により資本剰余金が77億34百万円増加し、前連結会計年度末に比べ57億円増加して1,675億70百万円となりました。なお、自己資本比率は前連結会計年度末の41.6%から40.3%となり、1株当たり純資産は前連結会計年度末の317円91銭から326円75銭となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

今後の見通しにつきましては、資源価格の高止まり及びサブプライムローン問題に端を発した金融不安から米国を中心に世界経済が減速したことにより、わが国でも景気後退の懸念が高まり、経済の先行きは大変不透明となっております。

このような経済環境の下、当社は高付加価値製品を中心に積極的な拡販に努めるとともに、引き続き収益確保のためのコストダウンを進めてまいり所存ですが、通期の連結業績予想及び個別業績予想を以下のとおり見直しております。

連結業績予想 (自 平成20年4月1日 至 平成21年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	410,000	25,000	21,000	11,000	21 82
今回修正予想 (B)	389,000	25,000	21,000	11,000	21 82
増減額 (B-A)	△21,000	—	—	—	—
増減率 (%)	△5.1	—	—	—	—
前期実績	363,996	29,912	24,918	6,660	13 57

(参考) 個別業績予想 (自 平成20年4月1日 至 平成21年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	279,000	22,000	20,000	12,000	23 80
今回修正予想 (B)	263,000	22,000	20,000	12,000	23 80
増減額 (B-A)	△16,000	—	—	—	—
増減率 (%)	△5.7	—	—	—	—
前期実績	266,776	25,576	22,816	6,604	13 46

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

第1四半期連結会計期間より、従来持分法を適用しておりました菱三商事株式会社は新たに株式を追加取得したため、連結の範囲に含めております。

また、有限会社糸魚川タクシーは当社が保有する株式の売却、日動産業株式会社は重要性の観点より、連結の範囲から除外しております。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(簡便な会計処理)

1. 一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第2四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

2. 法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付税額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

なお、法人税等調整額は「法人税、住民税及び事業税」に含めて表示しております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理)

該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

1. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。
2. 通常の販売目的で保有するたな卸資産については、従来、主として総平均法による原価法によっておりましたが、第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準第9号 平成18年7月5日)が適用されたことに伴い、主として総平均による原価法(貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切り下げの方法)により算定しております。これにより当第2四半期連結累計期間の営業利益は、218百万円減少しております。
3. 所有権移転外ファイナンス・リース取引については、従来、賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっておりましたが、「リース取引に関する会計基準」(企業会計基準第13号(平成5年6月17日(企業会計審議会第一部会)、平成19年3月30日改正))及び「リース取引に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第16号(平成6年1月18日(日本公認会計士協会 会計制度委員会)、平成19年3月30日改正))を第1四半期連結会計期間から早期適用し、通常の売買取引に係る会計処理によっております。また、所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産の減価償却の方法については、リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用しております。これによる当第2四半期連結累計期間への影響は、軽微であります。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成20年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,425	3,212
受取手形及び売掛金	85,297	71,037
商品及び製品	41,850	35,042
仕掛品	1,657	1,681
原材料及び貯蔵品	12,797	10,851
繰延税金資産	1,693	1,380
その他	8,755	11,299
貸倒引当金	△229	△221
流動資産合計	155,248	134,284
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	45,929	46,925
機械装置及び運搬具(純額)	71,310	71,570
工具、器具及び備品(純額)	2,821	2,964
土地	61,060	59,810
リース資産(純額)	47	—
建設仮勘定	14,618	4,411
有形固定資産合計	195,788	185,683
無形固定資産		
特許権	38	44
ソフトウェア	1,515	1,818
のれん	3,596	—
その他	336	377
無形固定資産合計	5,486	2,240
投資その他の資産		
投資有価証券	40,314	41,175
長期貸付金	96	97
繰延税金資産	593	466
その他	11,941	11,589
貸倒引当金	△349	△171
投資その他の資産合計	52,597	53,156
固定資産合計	253,872	241,080
資産合計	409,120	375,364

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成20年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	60,546	53,554
短期借入金	48,918	44,526
コマーシャル・ペーパー	13,000	5,000
1年内返済予定の長期借入金	4,465	4,106
1年内償還予定の社債	—	10,000
未払法人税等	4,410	3,723
繰延税金負債	13	0
賞与引当金	2,250	2,016
その他	37,353	38,392
流動負債合計	170,957	161,319
固定負債		
社債	30,000	20,000
長期借入金	16,777	8,696
繰延税金負債	1,271	2,586
再評価に係る繰延税金負債	7,442	7,445
退職給付引当金	6,513	5,183
競争法関連費用引当金	7,390	7,390
その他	1,196	870
固定負債合計	70,592	52,173
負債合計	241,549	213,493
純資産の部		
株主資本		
資本金	36,998	36,998
資本剰余金	49,310	41,576
利益剰余金	62,740	60,286
自己株式	△769	△684
株主資本合計	148,280	138,176
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	5,785	7,194
土地再評価差額金	11,162	11,163
為替換算調整勘定	△536	△512
評価・換算差額等合計	16,411	17,845
少数株主持分	2,879	5,848
純資産合計	167,570	161,870
負債純資産合計	409,120	375,364

(2) 四半期連結損益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)
売上高	194,811
売上原価	156,903
売上総利益	37,908
販売費及び一般管理費	26,960
営業利益	10,948
営業外収益	
受取利息	40
受取配当金	644
為替差益	102
その他	169
営業外収益合計	957
営業外費用	
支払利息	816
持分法による投資損失	59
その他	2,269
営業外費用合計	3,145
経常利益	8,760
税金等調整前四半期純利益	8,760
法人税、住民税及び事業税	3,507
少数株主利益	152
四半期純利益	5,100

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	8,760
減価償却費	9,516
のれん償却額	399
負ののれん償却額	△38
賞与引当金の増減額 (△は減少)	138
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	1,179
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	115
受取利息及び受取配当金	△685
支払利息	816
持分法による投資損益 (△は益)	59
投資有価証券売却損益 (△は益)	△23
固定資産除売却損益 (△は益)	324
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,977
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△7,011
仕入債務の増減額 (△は減少)	△1,801
その他	416
小計	10,188
利息及び配当金の受取額	831
利息の支払額	△812
法人税等の支払額	△3,639
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,568
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△18,280
無形固定資産の取得による支出	△11
投資有価証券の取得による支出	△1,257
投資有価証券の売却による収入	23
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	124
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による支出	△26
その他	△387
投資活動によるキャッシュ・フロー	△19,815
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額 (△は減少)	7,949
長期借入れによる収入	10,000
長期借入金の返済による支出	△1,868
社債の発行による収入	10,000
社債の償還による支出	△10,000
配当金の支払額	△2,453
少数株主への配当金の支払額	△128
その他	△25
財務活動によるキャッシュ・フロー	13,473
現金及び現金同等物に係る換算差額	8
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	234
現金及び現金同等物の期首残高	3,162
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	△27
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,369

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

- (4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

当第2四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年9月30日)

	有機系 素材事業 (百万円)	無機系 素材事業 (百万円)	電子材料 事業 (百万円)	機能・ 加工製品 事業 (百万円)	その他 事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連 結 (百万円)
売上高								
(1) 外部顧客に対する売上高	91,422	26,993	22,737	32,646	21,010	194,811	—	194,811
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	43	19	0	134	2,949	3,146	(3,146)	—
計	91,465	27,013	22,737	32,780	23,960	197,957	(3,146)	194,811
営業利益	3,280	1,609	3,392	2,269	427	10,978	(30)	10,948

(注) 1. 事業区分の方法

事業区分は、製品の種類・性質の類似性を考慮して区分しております。

2. 各事業区分の主要製品

事業区分	主要製品
有機系素材事業	スチレンモノマー、ポリスチレン樹脂、ABS樹脂、クリアレン、耐熱・透明樹脂、酢酸、酢ビ、ポバール、クロロプレングム、アセチレンブラック 他
無機系素材事業	肥料、カーバイド、耐火物、セメント、特殊混和材 他
電子材料事業	溶融シリカ、電子回路基板、ファインセラミックス、電子包装材料 他
機能・加工製品事業	食品包装材料、ワクチン、関節機能改善剤、診断薬、建築資材、産業資材 他
その他事業	プラントエンジニアリング 他

3. 会計処理の方法の変更

(棚卸資産の評価に関する会計基準)

【定性的情報・財務諸表等】4. その他(3)2.に記載のとおり、第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準第9号 平成18年7月5日)を適用しております。この変更に伴い、従来の方法によった場合に比べて、当第2四半期連結累計期間の営業利益は、有機系素材事業で46百万円、無機系素材事業で13百万円、電子材料事業で12百万円、機能・加工製品事業で146百万円、その他事業で0百万円それぞれ減少しております。

4. 当社グループでは、連結経営効率化や海外市場での販売力強化のため、菱三商事株式会社を連結子会社化するなど、グループ商社の機能強化を計っております。これに伴い、従来まではグループ商社を経由した販売を商社が含まれる「その他事業」セグメントの「外部顧客に対する売上高」として表示しておりましたが、実態をより的確に表示するため、第1四半期連結会計期間より販売製品別に各セグメントの「外部顧客に対する売上高」に表示しております。

なお、従来までと同様の方法で当第2四半期連結累計期間の事業の種類別セグメントを掲記した場合は、次のとおりであります。

当第2四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日）

	有機系 素材事業 (百万円)	無機系 素材事業 (百万円)	電子材料 事業 (百万円)	機能・ 加工製品 事業 (百万円)	その他 事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連 結 (百万円)
売上高								
(1) 外部顧客に対する 売上高	83,892	24,187	20,405	30,433	35,891	194,811	—	194,811
(2) セグメント間の 内部売上高又は 振替高	7,573	2,825	2,332	2,346	2,949	18,027	(18,027)	—
計	91,465	27,013	22,737	32,780	38,841	212,838	(18,027)	194,811
営業利益	3,280	1,609	3,392	2,269	427	10,978	(30)	10,948

〔所在地別セグメント情報〕

当第2四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日）

本邦の売上高は、全セグメントの売上高の合計に占める割合が90%超であるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

〔海外売上高〕

当第2四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日）

	アジア	その他	計
I 海外売上高（百万円）	41,808	12,583	54,391
II 連結売上高（百万円）	—	—	194,811
III 海外売上高の連結売上高に占める割合（%）	21.5	6.5	27.9

（注）1. 国又は地域は物理的近接度により区分しております。

2. 各区分に属する地域の内訳は次のとおりであります。

(1) アジア・・・中国、韓国、マレーシア、インドネシア、台湾、中近東他

3. 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

（6）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

株式交換によりデンカ生研株式会社を完全子会社化したこと等により資本剰余金が7,734百万円増加し、当第2四半期連結会計期間末において資本剰余金が49,310百万円となっております。

「参考資料」

前年同四半期に係る財務諸表

(1) 中間連結損益計算書

区分	前中間連結会計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日)	
	金額 (百万円)	百分比 (%)
I 売上高		176,180 100.0
II 売上原価		136,059 77.2
売上総利益		40,120 22.8
III 販売費及び一般管理費		24,555 14.0
営業利益		15,565 8.8
IV 営業外収益		
1 受取利息	39	
2 受取配当金	817	
3 保険金等戻金	1	
4 業務受託収益	218	
5 持分法による投資利益	392	
6 その他	37	1,508 0.9
V 営業外費用		
1 支払利息	809	
2 固定資産処分損	456	
3 退職給付債務会計 基準変更時差異償却	542	
4 その他	1,309	3,119 1.8
経常利益		13,954 7.9
VI 特別利益		
1 固定資産売却益	7	7 0.0
VII 特別損失		
1 固定資産売却損	192	192 0.1
税金等調整前中間 純利益		13,769 7.8
法人税、住民税及び 事業税	4,024	
法人税等調整額	1,870	5,895 3.3
少数株主利益		160 0.1
中間純利益		7,714 4.4

(2) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

	前中間連結会計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日)
区分	金額 (百万円)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前中間純利益	13,769
減価償却費	8,809
のれん償却額	0
賞与引当金増加額	100
退職給付引当金増加額	1,062
貸倒引当金の増減額	△2
受取利息及び受取配当金	△857
支払利息	809
持分法による投資利益	△392
固定資産除売却損益	449
売上債権の増加額	△5,218
たな卸資産の増加額	△1,909
仕入債務の増加額	2,147
その他	2,854
小計	21,622
利息及び配当金の受取額	997
利息の支払額	△814
法人税等の支払額及び還付額	△5,707
営業活動によるキャッシュ・フロー	16,098
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△9,007
有形固定資産の売却による収入	660
無形固定資産の取得による支出	△33
投資有価証券の取得による支出	△770
投資有価証券の売却による収入	500
その他	27
投資活動によるキャッシュ・フロー	△8,624

	前中間連結会計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日)
区分	金額 (百万円)
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の増減額	△1,524
長期借入金の返済による支出	△3,347
社債の発行による収入	10,000
社債の償還による支出	△10,000
連結財務諸表提出会社による配当金の 支払額	△2,209
少数株主への配当金の支払額	△87
その他	△112
財務活動によるキャッシュ・フロー	△7,281
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	△2
V 現金及び現金同等物の増減額	190
VI 現金及び現金同等物の期首残高	3,841
VII 現金及び現金同等物の中間期末残高	4,032

(3) セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

前中間連結会計期間（自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日）

	有機系 素材事業 (百万円)	無機系 素材事業 (百万円)	電子材料 事業 (百万円)	機能・ 加工製品 事業 (百万円)	その他 事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連 結 (百万円)
売上高								
(1) 外部顧客に対す る売上高	89,849	23,686	20,001	27,981	14,660	176,180	—	176,180
(2) セグメント間の 内部売上高又は 振替高	4,128	1,319	1,106	1,005	1,772	9,332	(9,332)	—
計	93,978	25,006	21,107	28,987	16,433	185,513	(9,332)	176,180
営業費用	85,809	23,514	17,088	27,251	16,269	169,933	(9,318)	160,615
営業利益	8,168	1,491	4,019	1,735	164	15,579	(14)	15,565

〔海外売上高〕

前中間連結会計期間（自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日）

	アジア	その他	計
I 海外売上高 (百万円)	42,796	11,845	54,641
II 連結売上高 (百万円)	—	—	176,180
III 海外売上高の連結売上高に占める割合 (%)	24.3	6.7	31.0

(参考資料)

平成21年3月期第2四半期決算概要

平成20年10月31日
電気化学工業株式会社

(単位:億円)

1. 業績

	平成20年9月 第2四半期 (4-9月)	平成19年9月 中間期 (4-9月)	増 減	平成21年 3月期予想 (4-3月)	平成20年 3月期 (4-3月)	増 減
売上高	1,948	1,762	186	3,890	3,640	250
営業利益	109	156	△ 46	250	299	△ 49
経常利益	88	140	△ 52	210	249	△ 39
当期純利益	51	77	△ 26	110	67	43

2. セグメント別 連結売上高・営業利益

(単位:億円)

		平成20年9月 第2四半期	平成19年9月 中間期	増 減	平成21年 3月期予想	平成20年 3月期	増 減
有機系素材	売上高	914	898	16	1,735	1,831	△ 96
	営業利益	33	82	△ 49	77	133	△ 56
無機系素材	売上高	270	237	33	554	490	64
	営業利益	16	15	1	33	29	4
電子材料	売上高	227	200	27	477	407	70
	営業利益	34	40	△ 6	76	78	△ 2
機能・ 加工製品	売上高	326	280	47	700	605	95
	営業利益	23	17	5	56	53	3
その他	売上高	210	147	64	424	307	117
	営業利益	4	2	3	8	6	2
消去差	売上高	-	-	-	-	-	-
	営業利益	△ 0	△ 0	△ 0	-	△ 0	0
合 計	売上高	1,948	1,762	186	3,890	3,640	250
	営業利益	109	156	△ 46	250	299	△ 49

3. 参考数値・前提

(単位:億円)

	平成20年9月 第2四半期	平成19年9月 中間期	増 減	平成21年 3月期予想	平成20年 3月期	増 減
設備投資額	163	94	69	330	212	118
減価償却費	95	88	7	195	179	16
研究開発費	48	46	2	103	96	7
有利子負債残高	1,132	851	281	1,150	923	227

	平成20年9月 第2四半期 (4-9月)	平成19年9月 中間期 (4-9月)	平成20年 第3・4四半期 (10-3月)	平成21年 3月期 (4-3月)	平成20年 3月期 (4-3月)
為替レート [円/\$]	106.1	119.3	100.0	103.1	114.0
国産ナフサ [円/kl]	78,100	58,700	50,000	64,050	61,450

4. セグメント別 連結売上高増減内訳

(単位:億円)

	売上高				
	平成20年9月 第2四半期 (4-9月)	平成19年9月 中間期 (4-9月)	増減	増減の内訳	
				販売価格差	数量差
有機系素材事業	914	898	16	79	△ 63
無機系素材事業	270	237	33	29	4
電子材料事業	227	200	27	4	23
機能・加工製品事業	326	280	47	1	46
その他事業	210	147	64	0	64
合計	1,948	1,762	186	114	73

5. セグメント別 連結営業利益増減内訳

(単位:億円)

	営業利益					
	平成20年9月 第2四半期 (4-9月)	平成19年9月 中間期 (4-9月)	増減	増減の内訳		
				販売価格差	数量差	コスト差等
有機系素材事業	33	82	△ 49	79	△ 2	△ 126
無機系素材事業	16	15	1	29	2	△ 31
電子材料事業	34	40	△ 6	4	4	△ 15
機能・加工製品事業	23	17	5	1	19	△ 14
その他事業	4	2	3	0	0	2
消去差	△ 0	△ 0	△ 0	0	0	△ 0
合計	109	156	△ 46	114	23	△ 183